

豊かな財政を区民のくらしに

日本共産党港区議団

# 原田区長に緊急要望書を提出

区営保育園や特養ホーム建設、コミュニティバス運行など七項目を要望



日本共産党港区議団は六月十八日、原田敬美区長に対し、「緊急要望書」を提出しました。（内容は別項）

申し入れの中で区議団は、「区立に空きがなく月六万円職場近くの保育園に預けている。生活できない」「特養に入れず三か月毎に病院から追い出されている」「お年寄りが一時間に一本しかない遠回りのバスでスポーツセンターのプールに通っている」「大

規模再開発に補助金を支出するのは『零細権利者を保護するため』と区長はいつているが、実態は去るも地獄残るも地獄という状態になっている」など、選挙中に寄せられた区民の声や区民生活の実態を示しながら、要望項目はいずれも緊急の対応が求められている問題であることを強調。実現に向けた区長の積極的な対応を求めました。

港区は巨額の黒字ほんのわずかで実現できる

原田区長は、「承りました。所管へまわし検討させます」と答えました。

区議団は、豊かな財政力をもつ港区においては、税収の黒字分のほんのわずかな部分をとりくずせば実現できる問題ばかりであることを指摘し、ただちに実現することを重ねて要求しました。

## 「緊急要望書」の内容

保育園の待機児童をなくすため、区営保育園を新設すること。

小学6年生までの医療費無料制度をつくること。

介護保険料・利用料軽減策の対象要件を緩和すること。

ホームヘルパーの三％への軽減は現行通り継続すること。特養ホームについて、待機者数に見合う新規の建設計画を具体化すること。

高齢者福祉手当の支給を継続し、増額すること。

区によるコミュニティバスの運行を決断すること。

森ビルなど大手不動産主導の再開発への補助金支出を抜本的に見直すこと。

日本共産党港区議員団ニュース

2003年  
6月25日

ご意見をお寄せ下さい

【連絡先】日本共産党港区議員団控室 〒105-8511 港区芝公園1-5-25 港区議会内  
TEL 3578-2945 FAX 3578-2947 Eメール mail@jcp-minatokugidan.gr.jp